

あなたのスキルは社会に役立つ

エンジニアだからできる社会貢献

東日本大震災の発生直後に発足したHack For Japanや「市民が主体となって自分たちの街の課題を技術で解決するコミュニティ作り支援」を掲げるCode for Japanのメンバーを始めとして、日本各地で技術を活用した社会貢献活動が行われています。本連載では、防災や減災、地域の活性化や課題解決、そして人材育成など、「エンジニアだからできる社会貢献」の取り組みをお届けします。

第127回

シビックテックミートアップ2022「いざ岐阜へ」

●「いざ岐阜」実行委員会 石井 哲治(いしいてつじ)

シビックテックミートアップとは、シビックテックに関わっている方や興味がある方で集まって交流を深めるイベントです。今回は2022年4月16日、17日に岐阜市で開催したシビックテックミートアップを紹介します。北は北海道、南は熊本から総勢40名弱のシビックテッカーが集結しました。

開催のきっかけ

コロナ禍でオンライン会議こそやりやすくなりましたが、逆に実際に大勢で集まって話をする機会はほとんどなくなりました。筆者は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたらオフラインの交流イベントを開きたいと思っていました。そこで、2021年12月にSNSやSlackで興味のある方をGoogleフォームで募ったところ20名近くの方からの回答があり、これはやるしかないと思い切って開催しました。

開催のコンセプトとしては、シビックテックに関わっている人たちの交流を深め、親近感のネットワークを広げるといえるものです。岐阜の歴史的背景(たとえば、岐阜という地名は織田信長が命名したものです)や、岐阜和傘や美濃和紙などの伝統文化が息づく街並みなど、筆者の住んでいる「岐阜」の魅力を知ってほしい、という想いもありました。

そこで、「全国の武将が集結した天下分け目の関ヶ原の合戦から422年余。コロナ禍にも負けずシ

◆ 図1 イベントバナーは関ヶ原合戦のオープンデータから作成しました



◆ 図2 タイムスケジュール

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	
4/16 (土)		プレオープン	ランチ会	プレオープン	オープニング配信	ワークショップ			懇親会準備		アフターセッション		片付け		
4/17 (日)		フィールドワーク							クロージング配信						
		ワークショップ													

ビックテックを実践している全国の強者どもの交流を深めるためのミートアップを岐阜で開催します」というキャッチコピーにしました(図1)。

タイムスケジュール

当日は、図2のようなタイムスケジュールで進行しました。

1日目： ワークショップや交流会を開催

会場となる長良川うかいミュージアムでの交流をメインに、次のようなワークショップやランチ会、アフターセッション(交流会)を開催しました。

- シビックテック活動紹介ON AIR & パブリックビューイング
- シビックテックを温泉 & 川原で青春ドラマっぽく語ろう
- 東西対決！天下分け目は本当に関ヶ原なのか？
- まちやブリゲードの歌をGPT-3に作詞作曲させよう
- 会場を編み物で飾ろうヤーンボミング研究会
- 岐阜からこんにちは！ラジオDJデビュー「突撃！隣のシビックテック」

2日目： 岐阜市周辺をミニフィールドワーク

岐阜市を楽しんでもらうため、岐阜市周辺で以下のミニフィールドワークを開催しました。観光気分に参加者同士の交流を深めました。

- いしいさんを探せ！
- 岐阜の夜のマッピングパーティ
- おもしろスポットキュレーション
- 岐阜の街をながめる絶景でリスと戯れる
- SAIRIツアー & (ニット)ピクニック
- 美濃のうだつの上がる町並みの酒蔵を見に行こう

企画の一部を紹介

シビックテックのミートアップといっても、今回の主目的は交流ですので、IT技術を利用することは

とくに意識していませんでしたが、全国のシビックテッカーが各自で考えてくれた企画の中で、技術的にさまざまな取り組みがされていたので、いくつか紹介します。

シビックテック活動紹介 ON AIR

全国から集まったシビックテッカーによるライトニングトークです。オンラインでの発表に慣れてきていると、久しぶりのリアルでの発表(写真1)は緊張しました。それぞれの発表内容(表1)はCode for JapanのYouTubeチャンネル^{注1}にアーカイブされていますので、気になる取り組みがあればチェックしてみてください。

まちやブリゲードの歌を GPT-3に作詞作曲させよう

「うたつくるくん」という、GPT-3^{注2}を応用したアプリを使った企画です。「曲名」「アーティスト名」「歌詞に含めてほしいキーワード」を指定すると作詞作曲してくれます。たとえば曲名を「いざ岐阜へ」、アー

注1 <https://www.youtube.com/user/codeforJP>

注2 2020年7月にOpenAIという団体が発表した、高性能な言語モデルのことです。

◆表1 ライトニングトーク一覧

タイトル	登壇者
編み物とシビックテック	石井 哲治
ごすぎレイディオ	小俣 博司
房総どうでしょう！？開催報告	Miyuki Shirasawa
データと教育と川崎と	山田 洋志
Code for Kumamoto 2021年の活動	C4 熊本うえだけんじ
CODE for GIFUの活動について	天川 伊織
おじさんへの愛を語る	シビックテックさいたま
シビックテックでGPT-3を使い倒す	白松 俊 (Code for Nagoya)

◆写真1 カメラ2台含む配信機材が充実





テキスト名を「ながらがわ」、キーワードを「長良川」「オープンデータ」「シビックテック」と入力すると10秒程度で歌詞とコード進行が生成されます(図3)。それを実際にベースで弾いてもらって、即興でメロディを付けて歌ってもらうというワークショップを行いました(写真2)。意外とそれっぽい歌詞が作られたり、人が弾くには難易度がかなり高いコード進行が生成されたりと、無茶ぶりが楽しかったです。

突撃！隣のシビックテック

イベントに参加してくれた方へ3分から5分程度のインタビューを行い、その内容をポッドキャストに収録しました(写真3)^{注3}。普段やっている活動やこのイベントで会いたい人、やってみたいことなどを聞いています。総勢30名分のインタビューが収録されており、会場のがやがやした雰囲気が伝わってきます。イベントのアーカイブとして楽しめます。

シビックテック紙芝居

パワボカラオケ^{注4}の企画です。わざわざこのイ

注3 <https://www.podpage.com/-5/>

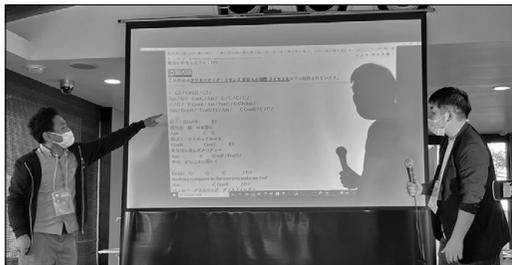
注4 パワボカラオケとは、自分が話したいテーマについてランダムに表示される画像に合わせて即興でストーリーを作っていくショートプレゼンのことです。

◆ 図3 GPT-3を使って生成された歌詞とコード進行の例

```
Oh it's Kyoto on my mind G /  
G / ConE Am / F G /  
Am / C / G DonF# / G Em /  
C GonB / Am C / F G /
```

```
G ConE Am  
Arriving on foot 長良川を渡って  
F GonB Am C  
Wasn't this trip いまだに見抜けない限り
```

◆ 写真2 即興でベースを弾きながら歌ってもらいました



ントのためだけにWebアプリ^{注5}を作ってくれました(図4)。キーワードでOpenverse(旧CC Search)^{注6}というサイト内を検索し、クリエイティブ・コモンズライセンスのCC BY、CC0の画像をランダムに表示します。著作権にも配慮済みです。さすがシビックテッカーですね。

お酒紹介ブース

コロナ禍でのイベントだったため会場での飲酒はできませんでしたが、岐阜県にはおいしい地酒がたくさんあるので紹介したいということで、Code for SAKE^{注7}と一緒に地酒のデータベース^{注8}を作成して紹介しました(写真4)。参加者にはお土産として日本酒のミニボトルを持って帰ってもらいました。

いいさんを探せ！

2日目のミニフィールドワークで実施した、ス

注5 <https://civictech-kamishibai.vercel.app/>

注6 WordPressのオープンソースプロジェクトの一部で、オープンライセンスの画像を検索して利用することができるサービスです。

注7 <https://www.code4sake.org/>

注8 https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=1qBfh0L5Tu4684-EtK_Ywvld_LwdCa6N&usp=sharing

◆ 写真3 収録時の様子



◆ 図4 キーワードの組み合わせでランダムに画像を表示するアプリ



トリー仕立ての謎解きです(図5)。筆者が岐阜市内のどこかに捕らえられているのを救出するという設定で、what3words^{注9}というサービスを使いました。このサービスは、3つの単語の組み合わせにより、3m四方の位置情報を示すことができるというものです。岐阜市内の各スポットに関する問題(たとえば「柳ヶ瀬本通り商店街の別名は？」など)を解くとキーワードが1つ得られます。岐阜市内をめぐるキーワードを3つ集め、それらを組み合わせで隠れている場所を特定するというしくみです。スタッフがこの企画のために3回も岐阜市内の事前調査をしてくれました。

いざ岐阜まちあるき

「いいさんを探せ！」から派生した企画です。謎解きのために調べた岐阜市内のスポットをまとめて、スタンプラリーのアプリにしました。ノーコードでスタンプラリーを作成できる、株式会社かけはしの「かけはしメモリー」^{注10}というサービスを利用しています。謎解きで回った岐阜市内の各スポットを、QRコードを使ってスタンプラリーのように残

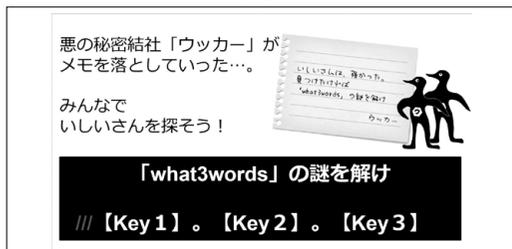
注9 <https://what3words.com/ja/about>

注10 <https://kakehashi-services.com/category/kakehashi-memory/>

◆写真4 お酒紹介コーナーの様子



◆図5 what3wordsの謎解きゲーム



すというものです。記録したスタンプはいつでも確認できて、当日見学できなかった場所も後日に振り返ることができます。

一番人気の企画は？

いろいろな技術が駆使されたイベントでしたが、参加者の感想で一番人気だった企画は「シビックテックを温泉&川原で青春ドラマっぽく語ろう」でした。1日目の会場となった長良川うかいミュージアムの目の前に流れている長良川の川原で、2名ペアになって青春をテーマに語り合うという企画です(写真5)。

オンラインで会うことはあっても、イベント内でお互いのことを知る機会はなかなかありません。参加者同士でフラットに1対1で話すだけでも、いろいろな会話ができて楽しかったと好評でした。

さいごに

参加者から「久しぶりのリアル開催は良かった」「顔を合わせて話すことは大切」などの意見が多く聞かれました。企画の当初に掲げていた「親近感のネットワーク」が構築されることにより、多くの地域や人がつながり、地域を超えた課題解決の輪が広がっていく下地を作ることができました。

今年は新型コロナウイルスとも一緒に付き合うかたちで、オフラインイベントが多数開催されると思います。みなさんも、ぜひとも各地でイベントに参加してみたいかがでしょうか？ **SD**

◆写真5 天気も良くて青春の会話が弾みます

